

令和7年度第3回江南市地域公共交通会議 会議録

- 日 時 令和8年1月27日(火) 午後3時00分～午後4時05分
- 場 所 江南市役所3階 第3委員会室
出席者 15名(高井 勇輔(代理:夫馬 康昌)、臼井 雅宏、森 稔、若林 享修、小林 裕之、鈴木 浩示、高橋 正博(代理:坪内 貢)、磯部 友彦、原田 光一郎(代理:岩井 陸人)、石屋 義道(代理:藤原 太陽)、藤原 英智、山下 泰弘(代理:吉住 貴志)、田實 直也(代理:長谷川 雅敏)、近藤 和彦、鵜飼 篤市)
欠席 2名(青山 多佳子、栗本 浩一)
- 傍聴者数 6名
- 資料
 - 資料1 : 市民アンケートについて
 - 資料2 : 利用者アンケートについて(名鉄バス)
 - 参考資料1 : 市民アンケート調査報告書
 - 参考資料2 : 利用者アンケート調査報告書(名鉄バス)
 - 参考資料3 : 地域公共交通基礎調査報告書(案)
 - 参考資料4 : 江南市地域公共交通についての懇談会開催報告
 - 参考資料5 : 利用者アンケート報告書(いこまいCAR)
 - 参考資料6 : 企業等送迎バスの実態調査結果について

開会（午後 3 時 00 分）

○会長あいさつ

会 長 地域交通はいろいろなものがありまして、何がいいかということがございます。先週、（別の会議で）そういうのは学識者がアイデアを出してもいいのではないかと言われましたが、私は（学識者は）アイデアを出す人間ではないと思っております。今日はレストランのシェフだと思ってください。いろいろなメニューがあるのですが、お客さんが食べたいものを作ってあげるといことだと思えます。地域住民が何を望んでいるのか、こういうものを欲しいと言ってくればいいのですが、なかなかそれがわからないということで、今日話題にするアンケートをやって、一体何が困っていて、何をやってほしいのかというのをつかんで、そこでその人に向けた良いものを作っていくという話を皆さんで考えていきたいと思います、そういう作業をしますので、よろしく願いいたします。

○議題

協議事項

- (1) 市民アンケート等の結果について
(資料 1、資料 2、参考資料 1～6)

会 長 それでは、次第 2 の議題に進みます。協議事項でございます。市民アンケート等の結果について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 資料 1 について説明

会 長 委員の皆様から意見があればお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

<意見なし>

会 長 どうしても「不便」という言葉が出てくるのですが、恐らくどんなに良いシステムを入れても不便さは消えないと思えます。不便と答えるのは相対的なものなので、他の地域に比べればこちらは不便だというように、何かと比べていくと不便という言葉は出てきます。半数が不便だと言っても、それはある意味そうだと考えて解釈していかなければいけないなと思えます。

もう 1 つ、交通の会議なので、交通の細かい話に入るのはわかるのですが、まず（市民が）この町できちんと生活ができているかどうかということから、考えてほしいです。皆さんいろいろな乗り物、いろいろな移動手段を駆使して、不満がありながらも生活はできているのか、（生活するのに必要な）努力が大変なものなのか、ある程度なのかを加味しながら、この町の生活実態を見ていくというのが大事かと思えます。

交通に対する要求はすればするほど、ものすごく高くなっていくのは当たり前です。市民の率直な意見を聞いて、どのようにしていったらいいかというのを皆さんと一緒に考えていくことが大事だと思っております。

それでは、次の資料 2 の説明をお願いします。

事務局 資料 2 について説明

会 長 今回はバスに乗っている人、バスに限っての話ですから、さらにいろいろと工夫が必要ではないかという議論ができると思っております。いかがでしょうか。

<意見なし>

会 長 江南市の特性として、江南市の住宅地からバスに乗って名鉄の駅に着いて、名古屋方面へお勤めに行くという 1 つのパターンがあるとお話ししましたが、その逆のパターン、つまり名鉄電車に乗って江南市へ来て、江南市の職場なり、学校へという流れはいかがでしょうか。

事務局 今回の調査で、特に江南から出ていく人が多いという結果についてお話ししましたが、逆（のパターン）ですと、江南市にある学校に、県内・県外を含めていろいろなところから集まってきている学生が多いと把握しております。企業につきましても、特に駅に近いところ、市役所の職員が多く、滝学園も多いです。工場は郊外になるので、電車とバスを利用している方は少ないです。

江南厚生病院もたくさんの方が働いてみえて、OD 調査の結果でも、江南駅と江南厚生病院間の人数が非常に多いです。

また、朝の便にたくさんの方が乗っていただいていると把握しておりますので、市外から通勤されている方というふうに把握しております。

会 長 ありがとうございます。それとは別に大口町への流れがあります。名鉄電車の駅からの流れも、これは目立ってはいないということでしょう

うけれど、江南駅を中心にして存在しているということによろしいですか。ありがとうございました。

他に何か皆さん、質問したいことがあればいかがでしょうか。

副会長 今回の会長のお話と関連の質問ですが、資料1の10ページに主な外出先が、市内だと高屋町、古知野町、松竹町となっているのですが、この地域にどのような勤務先があるのか、把握されていたら教えていただきたいです。

事務局 高屋町につきましては、先ほどご紹介いたしました江南厚生病院、また近隣に工場、サンハウス食品、ハウス食品の子会社があります。松竹町につきましては、アピタ江南西店ということで、江南市内で一番大きいショッピングセンターがあるのと、他にはシキボウ江南工場があるなど、その辺りの工場はバスで通勤ができると思われれます。高屋町は病院がある関係で、隣に看護学校の専門学校の学生さんもたくさんみえます。以上です。

会 長 バスのOD調査はバス停間の流れをきちんと表現したものです。あくまでバスに乗った人の調査ですから、どこに行っているか本当のことはわからないですが、バス停を降りてからの行き先がどこかということも把握して、類推できることがあれば、そういう形で解釈していくことが大事かなと思います。

それはなぜかという、バスというのは一度にたくさんの人を運べるという特性があります。そういう移動の必要性のある職場なり学校の人たちの要望をしっかりと聞いて、そのための対応をしていくということが必要かと思えます。それがちゃんとできているかどうか、きちんと整理しておくといいかと思えます。

他に皆さん何かございますか。

事務局 先ほどの人口の流入の関係ですが、参考資料3にも国勢調査をもとにした資料がありますので、参考資料3の29ページをご覧ください。こちらの資料は令和2年の国勢調査をもとに、市民の方が流出した、または市外の方が江南市に流入したというようなものを地域別に示しております。右に令和2年のデータがあり、数値とともにグラフの長さが多い少ないの判断ができるようになっています。

まず通勤で上の表があり、令和2年につきましては、名古屋市への流入は7,000人ぐらい、次に多いのが小牧市の4,000人、その次が一宮市の3,375人、その次に大口町の3,271人という順番になっております。ここは愛知県内と、各務原市が隣になるので、そちらも参考に載

せております。

逆に流入につきましては、先ほどの傾向とは全く違っており、青いグラフの一宮市 3,649 人が一番多く、その後は、扶桑町 1,303 人、その次が各務原市で 1,113 人というような順番になっています。

その下にあるのは通学の移動ということになります。こちらの上の方の令和2年をみると、先ほどと同じ傾向がありまして、名古屋市が 1,197 人で一番多い。その次が一宮市、扶桑町という形です。

その下の流入についてですが、流入が一番多いのが一宮市、その次が名古屋市なので、こちらは先ほど説明しましたが、滝学園とか、他にも江南高校、尾北高校は駅から徒歩圏内であって、滝学園はスクールバスがありますが、江南高校、尾北高校は江南駅、布袋駅から徒歩圏内にありますので、非常に交通の便がいいということで、名古屋からも来ていただいている方がみえるというところが推測できるかと思えます。以上です。

会 長 この議論が一番大事です。皆さん移動しているけれども、公共交通の立場から行くと、公共交通の路線がないために車で移動せざるを得ないという方がおられたときに、そこを公共交通でカバーできるかどうかという、そういう議論になります。

または、駅近の方々は別に駅からの公共交通は要らないという議論ができるかと思えます。まさにここの数字と、実際の公共交通が担っている役割のバランスを変えるときに、どこか不整合が見えてきたら、対応しなければいけないということになってくると思えます。そういった分析ができればいいと思えます。

会 長 他にいかがですか。今は総数だけで 1 日のトータルの数の動きを見ているわけですが、時間帯別、朝・昼・夕方・夜のそれぞれの流れがどのようにきちんとカバーできているかどうかということも次の課題としては必要かと思えます。

アンケートの後半の部分ですが、何かをいきなりやるというのは難しいです。ですから、こういう調査をしたら、こういう質問をしたらこういう反応があったというのは事実に対して、今後どのように検討していくのか。質問が難しかったということであれば、この結果というのは鵜呑みにはできないということもあります。もう少し丁寧な聞き方が必要ということであれば、そういった方針が必要だと思います。どうでしょうか。

事務局 資料 1 の 50 ページの新しい公共交通ですが、こちらの結果からはそれ

ぞれ特徴が生まれて、先ほど説明しましたが、まず公共交通のバス関係については、AI オンデマンド交通、これは隣の扶桑町がやっているチョイソコのイメージです。

また、コミュニティバス、こちらは大口町でやられている大口町コミュニティバスをイメージしております。そういったものについて、まず導入されたら利用するか意見を求めたところとしては、結果としては、コミュニティバスの方が「導入されたら利用する」が10%ぐらい多かったという形です。

ただ、AI オンデマンド交通につきましては、そもそも「わからない」という回答が多かったです。これは大口町のコミュニティバスは誰でも乗れるということで、江南市民の方も乗られたことがある方もみえるし、小牧市のこまくる、犬山市のわん丸君バス、一宮市のi-バス等、いろいろなコミュニティバスが近くでも走っているというところで、皆さんの理解度が高かった。それに対して、扶桑町のチョイソコについては、扶桑町民しか利用できないというところもあるので、そもそもわからないという方が多かったというところで、そこら辺を差し引くと、どちらが実際利用してくれるのかというのはこのままの回答を鵜呑みにすることはできないと思っております。

また、シェアサイクルも特徴がありまして、若い方は利用したい。年齢層が上がるほど導入されても利用しないという意見ははっきり出ました。こちらについても今の市民の世代を考えますと、市民の方に対しては導入しても利用はどうかと思うんですが、将来の市を担う若い世代の方が利用していただけるというところを捉えれば、将来的にはありうると思っています。

最後にMaaSにつきましては、導入について検討をしていただいたのですが、今のところは市民の方も「わからない」という回答もありながら、コミュニティバス等の江南市独自の公共交通がないので、交通位置を把握するというところまでは今のところは必要がないというところもあり、そこは新たな公共交通を導入した場合には合わせて検討する必要があるのかと考えております。

会 長 委員の皆様からも新しい公共交通について何かご発言があればと思いますが、いかがでしょうか。

自転車の利用というのは、江南市は平坦な町だということが前から言われているので、走る道さえよければ使えるというところが特徴的であるのですが、問題は、走る空間や道がきちんと整備されればということだと思います。道路の政策と一緒に、きちんとやっていかなければ

ばいけないというのがあるのですが、自転車の走行空間の話は、江南市で何かやられているのですか。

事務局 国からは、自転車活用推進法という法律で、自転車の活用を推進する取り組みをするという指導が自治体のほうにも下りては来ています。ただ、現状として、自転車利用者が安全に走行するためには自転車専用道があって、青い線を引いて、幅員もある程度確保しないといけないという課題に対して、今ただちに幅員を確保して、そういった空間を作ることができないという現実も理解しており、正直なところ、あまり動きはないです。

会 長 シェアサイクルの話は、まさにそこ（道路部門）との連携なんだろうなと思います。ただ単に自転車を勝手に使っていいよと言われても、どこを走るのかという疑問が出てきますので、なかなか普及はしない。いろいろな施策と合わせて見ていくことが必要だと思います。資料1でみると、今の路線バス（名鉄バスの路線）や、江南市の特徴であるいこまいCARに関してはかなり高い評価があると感じます。（バスについて）路線型の乗り物の宿命なのですが、路線が走っているところの地域の方は嬉しいということを言いますが、走っていない地域から見れば恩恵を受けていないという話が出てくるのは、路線型である限りはしょうがない話です。江南市としては、それをカバーするためにいこまいCARと両方でやっていく、路線型と地域全体をカバーするものと両方の合わせ技でサービスを提供するという現状かと思っています。それぞれ評価を受けているかとは感じます。何かご発言があればお願いします。

事務局 補足ですが、資料1の25ページをお願いいたします。公共交通での移動に不便を感じているかというアンケートの設問で、4つの小学校区でとても不便を感じているという結果が出ております。その中で、古知野北小学校区、宮田小学校区、草井小学校区については、地域懇談会を開催して、住民の意見を集約したところでございますが、想定していない布袋北小学校区からもとても不便を感じているという結果が出ました。この地域は、大口町が運行しております大口町コミュニティバスが一部運行している路線があるところではあるのですが、とても不便を感じているという結果が出ましたので、この小学校区についても直近で一度地域懇談会を開催しようかと考えております。

会 長 わかりました。地域特性が見えて、その地域の話をしっかり聞くという1つの目安をここで出されたということですね。地域の方のお話を聞いたところがあるとしたら、どのような話が出てきたのですか。漠

事務局

然と不便という話なのか、それとも何か不便を感じる原因というか、そういうのが見えてきたのかどうか、いかがでしょうか。

そちらについては参考資料 4 でまとめさせていただいております。地域懇談会を江南市の北部地域で開催しました。すべての小学校区は網羅してなくて、別で検討しております江南市北部の新たな公共交通の導入関係で該当する地区について懇談会をさせていただきました。6月から7月にかけて3回にわたって、参加者は各回10名から15名でした。参加者につきましては、地元の意見を集約する区長さんや役員さん、あとはお子様の意見などを総括していただきます子ども会の役員さん、民生委員さんなどに声をかけさせていただいて開催をしました。

次のページに、意見の内容が記載されております。各懇談会ではそれぞれの地区の意見をもらっておりますが、最後のページに懇談会で意見をまとめた集計があるので、ご覧いただきたいと思っております。

グループワークをしながら意見を伺ったのですが、2番目のテーマで、どんな交通手段があれば継続的に利用しますかという問いをしました。具体的にバス停まではどれぐらいがいいんですかということに対しては、5分から10分以内が多く、皆さん一般的に、常識的に答えていただいていると思えました。

その次の乗り継ぎの許容ですが、やはり乗り継ぎがあまりしたくないという方がほとんどで69%、1回程度ならよいという方が23%ということになっております。2回まではいいよと言っている方も8%います。

その右ですが、交通手段があったら行きたい場所をお尋ねしたところ、江南駅、江南厚生病院、市役所、その他という感じで、人が集まる主要施設を答えられたということがわかりました。

一番右が1乗車の金銭負担ということで、こちらも200円から300円、500円、1,000円とフリーで質問しましたが、500円ぐらいまでは許容できるという方が全体の80%ぐらいということになります。

一番下ですが、アンケート結果の質問①で満足度について、これは大体「普通」というような回答でした。

質問②、既存の公共交通（鉄道・バス・タクシー・いこまいCAR）以外に公共交通は必要だと思いますかという質問に対しては、必要だという方が地区別で意見をいただいても同じような感じですが、80%ぐらい必要ということで回答をいただいております。あとは、どこに行きたいかというのもわかってきました。江南市の公共交通を考える

にあたってはこちらも参考になりましたので、報告させていただきます。

会 長 地域に入って意見交換されたというのは大変良いことかと思えます。見ていると、課題の1つは広報が足りない、特に大口町コミュニティバスの活用が課題としてあります。2つの自治体で協力しながらやっているということで、大口町のほうに丸投げしているわけではなくて、江南市も協力しながらやっているということを説明していかないといけないです。

アンケートで広く情報を集めておいて、個別の地域に入って話を聞いて整理をしていくということですから、市民全体としての意見の話と、特定地域の意見の話と、2段階、3段階の整理をしていくといいと思いますので、今後の作業をよろしく願いいたします。

会 長 委員の皆さんから他に何かありますか。なければ、今日の議題はアンケートの話だけでございますので意見交換という形で今日は終わらせていただきたいと思えます。

○その他

会 長 続きまして、次第3、その他について事務局から説明をお願いします。

事務局 参考資料3に基づき説明

会 長 参考資料3が報告書という形で、このアンケートを含めていろいろとまとめたものでございますから、2週間ほどの期間で短いかもしれませんが、お目通しいただきまして、何かございましたら書面の意見表でご意見をいただければと思えます。よろしく願いいたします。
何かこの件でご質問等がありますでしょうか。

<意見なし>

会 長 議題は以上ですが、せつかくの機会ですので、公共交通に関して委員の皆様より何かご意見、ご要望がございましたら発言をお願いします。

事務局 1つ、今後江南市で公共交通の計画を作っていくにあたってご説明させていただきたい点があります。

参考資料3の86ページをご覧ください。バス、鉄道によるカバーエリアの人口及び、カバー率を整理した表です。「江南市における地域公共交通の基本的な考え方」では、表の②のとおり、江南駅、布袋駅、柏森駅、石仏駅の鉄道駅から1km、バス停から500m圏内をカバーエ

リアとしており、この距離の考え方についても意見をいただきたいと考えます。国土交通省の「地域公共交通づくりハンドブック」においては、“交通機関が充実している都市では、駅からは半径 500m以上、バス停から半径 300m以上が空白地域” “地方では、駅から半径 1km以上、バス停から半径 500mを空白地域”とされており、近隣では、小牧市が江南市と同じ考え方ですが、犬山市は鉄道駅から 800m、バス停から 300mと設定するなど、地域によって、距離の考え方は異なっています。

なお、距離の設定には、高齢化率や免許の所持率、実際の移動距離や坂道の有無、道路舗装の状況や歩道の整備状況などを考慮する必要があります。

江南市の高齢化率は、令和 5 年度時点で全国平均より若干低く、運転免許保有率も多く、また地形的に坂道がほとんど無く、ほとんど舗装されていることから、鉄道駅から 1km、バス停から 500m圏内を公共交通カバーエリアにしたいと考えています。なお、カバーエリアの考え方は、従来のおりとなりますが、「市民アンケートの公共交通での移動に不便を感じているか（資料 1 P25）」にて、バス停が近くでない古知野北小学校区だけでなく、布袋北小学校区や草井小学校区、宮田小学校区についても不便を感じている人が多いことが分かりましたことから、布袋北小学校区の大口町コミュニティバス（中部ルート及び南部ルート）のバス停や、草井、宮田小学校区の名鉄バスの江南団地E線、木曾川線のみが運行するダイヤが 1日に 10本未満で利便性が高いとは言えないバス停や、土曜・休日のみ運行される江南・病院線のうち「フラワーパーク江南」のバス停については、十分にカバーできているとは言い難いため運行状況等も加味していきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。

最後に、交通空白について、説明します。国土交通省の「地域公共交通会議に関する国土交通省としての考え方について」において、少なくともタクシーが恒常的に 30分以内に配車されない地域は交通空白地に該当するとされています。

江南市は、タクシー事業者の営業所が市内北部、東部、南部の 3か所にあることから、距離的には市内のどこでもタクシーの配車が容易で、さらに前日予約制のいこまいCARも運行していますことから、交通空白地はないものと考えていますのでよろしくお願いします。

これらの点につきまして、ご意見くださいましたらよろしくお願いします。

会 長 ありがとうございます。これは大事なページで、江南市の特性を考えたときに、どういう表現がいいのかということになります。江南市はルート型の鉄道やバスがあって、さらに面的にいこまいC A Rがある町です。そういう町において、カバー率という考え方をどのように持っていくか。あくまでも路線型だけではないということ、うまいこと表現しないと、丸の外（カバーエリア外）にあるのではないかという話になってしまいますので、表現を考える必要があると思います。タクシーの基地が3つもあるという江南市の特性を生かして、どう（カバーエリアとして）表現するか、アイデアがあればいただきたいです。何かご意見はよろしいでしょうか。書面でまた書いていただければと思います。それでは、報告書に対していろいろとご意見をいただいてというのを宿題としまして、別の話題でもいいですから、何か皆さんからご意見、ご要望がございましたら発言をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

委 員 今回の資料とは関係ないのですが、今後、地域公共交通計画を作成していくにあたって、今年度、国のインバウンド対策支援の補助を活用されていると思うのですが、その調査を行った結果、訪日外国人の利用実数がどれぐらいだったかお聞きしたいと思います。

会 長 （事務局へ）何か数字を持っていますか。

事務局 資料2でご説明させていただきましたバス利用調査の際に、インバウンドの方も見えたということで質問を用意したのですが、10月7日（火）と10月12日（日）の調査において、結果としては外国人の方は10名弱見えたのですが、その方のアンケートの回答についてはインバウンド（訪日外国人旅行者）ではないというところでした、せっかくこういった調査をやらせていただいたのですが、実績はゼロになってしまったという状況です。

委 員 訪日外国人旅行者がゼロだったことについては、また理由の分析をしていただいて、今後計画を策定するにあたってインバウンドの活用も視野に入れて公共交通を支えていくというような内容もご検討いただきたいと思います。

会 長 この調査の日はつかまらなかったのですが、普段はどうなんでしょうか。情報を集めていただければと思います。
委員の皆様方はいかがですか。よろしいでしょうか。

<意見なし>

会 長 それでは、意見もございませんので、これをもちまして進行を事務局にお返ししたいと思います。

事務局 磯部会長、議事進行をありがとうございました。委員の皆様方におかれましては、長時間にわたり慎重なご審議を賜り誠にありがとうございました。

次回の地域公共交通会議ですが、令和 8 年 3 月下旬に書面開催をする予定でございます。内容につきましては、令和 8 年度予算案の審査と、業務委託報告書の最終確認をお願いする予定としております。詳細の内容が決まり次第改めて通知させていただきますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、令和 7 年度第 3 回江南市地域公共交通会議を閉会させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

閉会（午後 4 時 5 分）